



10月号
(第383号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
広報課

楽しめないと楽しくない!

進路指導部長 五味 仁志



先行き不透明、いつ何が起ころうとも不思議ではない、マスコミも近年「想定外」という言葉が多用しています。人々の生き方や考え方も多様化し、新たな価値観や文化がどんどん生まれています。今私たちにとって、健全な社会を形成し持続するための努力は不可欠ですが、それとともに一人一人が楽しむことにいかに貪欲になれるかも大切だと考えます。

論語にある「これを知る者は、これを好む者にしかず。これを好む者は、これを楽しむ者にしかず。」や「学んで時にこれを習う、また喜ばしからずや。」は、皆さんもよく知っている言葉だと思えます。前者は、「物事を理解し、知っている者は、それを好んでいる者には及ばない。それを好んでいる者は楽しんでる者には及ばない」という意味です。つまり、「わかっているでも嫌々するのではなく、好きになってこそ身につくものだ。さらに、好きだという段階から、心から楽しんでやれるようになれば本物だ。」ということ。後者は、「どのようなことでも、一度学んだだけで身につけることは難しい。折に触れ、学んだことを繰り返し復習してみると、本当の意味がわかってくる。この「わかった」という喜びこそ、本来の学ぶ楽しさだ。」という意味です。いずれも、自分の意思で自らが「楽しめる」という環境を作っていくことが自分の生き方の幅を広げ、深めてくれる大きな要素になっていることだと私は捉えています。そして、その楽しさは、努力の積み重ねの後についてくるものであり、この楽しさの体験が、皆さんのキャリアを形成していく大きな原動力になっていることは間違いありません。

皆さんの学校生活、そしてこれからの人生には、いたるところに「楽しめる」ヒントが隠されています。ぜひ、五感を研ぎ澄ましてそのヒントを見つけ出し、まず「楽しむ」ことからトライしてみてください。人生、「楽しめない」と楽しくない!」、本当にそう実感しています。ただし、それは「しんどいけど楽しい」から始まることを忘れずに!

全国で第6位 書道を通しての成長

〜 全てのの人たちに感謝 〜

書道部 澤 まり (高3)

この度、第44回全国高等学校総合文化祭にて朝日新聞社賞・奨励賞という大きな賞を頂き、大変嬉しく思います。私は高村光太郎の詩「最低にして最高の道」を書きました。この詩を見たとき、詩の題名に強く惹かれました。私がこの中高で過ごした6年間は、楽しいこともあった反面、辛いこともありま

した。しかし、私はじっと我慢したり、先生方に相談のついでに泣いたり、時には涙を流し、そのたびに困難を乗り越えてきました。それらの経験があったからこそ、今の私があり、充実した日々を送れています。そこで私が武庫川で過ごした日々を詩に乗せて、書で表現しようと考えました。顧問の先生からアドバイスをいただき、行を揺らして作品全

体に躍動感を与えました。様々なことに左右されることはあっても、常に自分自身を見失わないように芯のある人でありたいという思いを作品に込めました。

最高学年になり入部当初を振り返ると、先輩方の書かれています字がとても上手で、同じ部屋で字を書くのも恐縮していました。私も早く先輩方のような字が書けるようになりたいと強く思い、毎日練習に励んだのを覚えています。そして、今までずっと、同学年の存在がより私を前向きな気持ちへとさせてくれました。私にとって書道部は、好きなことを夢中で取り組める空間であり、同学年と書道のこと、それ以外のことも語り合える大切な場所です。また年々後輩が増えることで、書道や日常生活を通して、自分のあり方を見つめ直すきっかけとなりました。

私は「何事にも全力で取り組む」という目標を掲げ過ぎてきました。この6年間は部活動や委員会活動、クラスや学年での活動に、力を注ぐことができました。それぞれの場所で違った仲間がいたからこそ、精一杯取り組むことができました。たくさんの先生方にも支えていただき、実りのある毎日です。その充実が書道に活かされたことに感謝します。



MSタイム CGコースも活動中!

昨年度よりCGコースのMSタイムでは、6学年とも持続可能な開発目標(SDGs)についての探究活動を中心にさまざまな学習を進めています。今年度は一学期が短く、二学期の活動がかわたがわしいものになっていきますが、どの学年も生徒たちは積極的に活動しています。



10月10日(土)は、高校1年・2年が中高キャンパスにとどまらない活動を

しました。

高校2年生のCGコースは、SDGsについて6分野の「食糧」「環境」「住み続けられるまちづくり」「ライフサイエンス」「エネルギー」「先端技術」の各諸問題について、5人の先生方からご講義を受けました。食糧分野では武庫川女子大学食物栄養科学部吉田徹先生、環境分野では京都大学農学研究所フィールド科学教育センター海洋生物環境学分野の市川光太郎先生、ライフサイエンス分野では産総研・大阪大学先端フオトニクス・バイオセンシングオープンイノベーション副ラボ長 脇田慎一先生、住み続けられるまちづくり分野ではNPO法人阪神淡路大震災「1・17希望の灯り」理事長 藤本真一先生、エネルギー・先端技術分野では新産業創造機構 理事・事務局局長兼研究開発部門長 飯塚昌弘先生にお越しいただき、自分たちが探究を進めている分野ごとに分かれて講義を受けました。生徒たちは、それぞれのテーマに対応した内容や、先生方の専門分野の詳しい内容の講義を受けて、これから探究活動を進めていく上での新しい視点やヒントをいただき、大いに刺激を受けたようでした。

高校1年生は、キャリア教育の一環として全員を2グループに分けて、武庫川女子大学薬学部の見学に行きました。はじめに薬学部長篠塚和正先生より薬剤師の仕事の内容や、これからの仕事についてのお話を伺い、その後本校出身の3回生OGから、なぜ薬学部に行ったのかや、高校でやっておくとよいこと、大学生活などについて映像でメッセージをいただきました。それから小グループに分かれて、大学の施設や各研究室を案内していただきました。薬学部キャンパスは中高のキャンパスから徒歩5分程の距離ですが、普段入ることがないため、生徒たちは様々な施設やアカデミックな空気に驚いていました。途中先生方や学生にいろいろと質問して、自分分が取り組むべき課題を見つけるなど、高校での現在の勉強や活動に、さらに



MSタイムでは、来月も大学との協力や、各研究機関や企業から講義に来ていただくなど、探究活動やキャリア教育を深める活動を予定しています。

小学生、中学生のために作りました
被服部がマスクを制作

被服部 部長 藪内 香苗(高3)

被服部がマスクを作りました。入試説明会に来られる小・中学生に、受付で配っていただくためです。被服部というクラブを知っていただくこと、なにより新型コロナウイルス対策の一つとして使っていたことを目的としました。

部員全員でマスクを百枚作ることを目標としていましたが、二百枚以上を作ることができました。一緒に作成してくれた部員にはとても感謝しています。

「小学生や中学生が、マスクを大事そうに持っていたよ！」と参加した先生から聞いたとき、とてもうれしく、作って良かったと思います。

これからもマスクをつける生活は続くと思います。マスクをつけることはとても大切だと思います。私達が作成したマスクをつけていただくと、とてもうれしいです。



甲子園球場でコーラス部が演奏!

高校コーラス部 部長 八尾 鈴葉(高3)

今回、朝日新聞社様より9月19日(土) 甲子園球場で行われた「全国高校野球選手権大会 優勝旗返還式」で『国歌』と『栄冠は君に輝く』を歌わせていただくという素晴らしい機会を頂戴しました。

初めて甲子園に立つて見た景色は素晴らしいものでした。数日前まで雨の予報でしたが、当日は青空が広がり、まさに夏の甲子園を思い出させるような天候でした。

一緒に式を盛り上げる尼崎市立尼崎高校吹奏楽部の迫力のある素晴らしい演奏には圧倒されましたが、私たちも吹奏楽の演奏に負けないように心を込めて力限り歌いました。

人前で歌える機会が減っている中で歌わせていただ



けたこと、初めて甲子園で演奏ができたことはとても嬉しく感動しました。こんな貴重な経験ができたのも、朝日新聞社の方々、先生方や保護者などたくさんの方の支えがあったからです。この感謝の気持ちをお忘れのことなく、そしてこの日の経験を深く胸に刻み、また次の舞台に向かって部活動に励んでいきたいと思っています。

(※この時の様子はYouTubeの「バーチャル高校野球優勝旗返還式」で視聴できます)

教育実習生より

文学部 英語文化学科 児島 愛奈

約一ヶ月間私たち実習生を受け入れてくださり本当にありがとうございました。最後に私からみなさんに伝えたい事は、「自分の夢に向かって頑張るほしい」という事です。私は中学に入学した時から持っている夢があり、それに向かって今までそしてこれからも頑張っていきます。みなさんそれぞれに夢があると思います。その夢をぜひ諦めずに叶えられるように取り組んでください。今後、辛い事や苦しい事もたくさんあると思いますが、乗り越えた先で得られた事がみなさんの糧になると思っています。勉強はもちろんですが、それ以外の部活など自分分がしている事を最後までやり遂げ、その学びを生かす事で今後のみなさんの人生が明るくなることを願っています。



文学部 日本語日本文学科 近藤 優佳

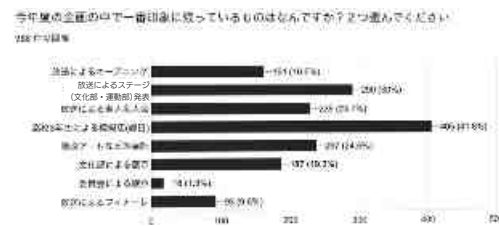
教育実習では、生徒のみなさんから学ぶことも多く、とても充実した三週間となりました。授業では、積極的に参加してくれたり、校内ですれ違った時には元気な挨拶をしてくれて本当にうれしかったです。ここでみなさんへ「今、目の前にあることを最後まで続ける」大切さを伝えます。最後まで続けなければ、達成感を味わえませんし、胸を張ってやりきったといえないと思います。部活動でも習い事でも何でもいいので、まずは続けることを頑張ってください。そして、その中で謙虚に貪欲に学ぶ姿勢を忘れずにいてください。そうすれば自然と自信にも繋がりますし、自分の未来へと繋がると思っています。みなさんのことを応援しています。本当にありがとうございました。

「武庫フェス終了後のアンケート結果報告」
常任委員会より

武庫川フェスティバル終了後に全校生徒のみなさんにご協力いただいたアンケートの結果をご報告させていただきます。

まず、今年度の企画で一番印象に残っているものを選んでいただきました。結果、高校3年生の縁日と放送によるステージ発表が上位に上がりました。次に、新型コロナウイルスに関する質問では、98%の人が対策をすることができたという結果となりました。対策をできていなかった人の理由としては、マスクを外してしまったことや密になっていたことが上げられました。これらを受けて、さらに今後の学校生活でも対策を心がけて過ごしていきたいでしょう。

他にも多くの貴重なご意見をいただくことができました。いただいた意見を来年度にも活かせるよう、引き続きしていきたいと思えます。最後に、このアンケートに協力していただき、ありがとうございました。



☆様々な分野での活躍

【書道部】

◇第44回全国総合文化祭 優秀作品展
国立オリンピック記念青少年センター
展示会期 令和3年2月

朝日新聞社賞・奨励賞 澤 まり(高3)

※全国総合文化祭祭出品作品316点の中のベスト6に相当する賞です

【カヌー部】

◇兵庫県総合体育大会代替 高等学校カヌープリント大会
8/9 兵庫県栗原市音水湖
女子カヤックシングル500m 第1位
富澤 侑彩(高2)

【個人】

◇第31回伊藤園「おーいお茶 新俳句大賞」
佳作特別賞
瀧 小夜子(高3)

「木の実落つ 昨日の夜の 水たまり」

寺崎千里佳(高3)

佳作特別賞
「毛糸編む 私の色に 染めていく」

入江 陽菜(中2)

佳作特別賞
「友達と 遊んだままの 風車」

9/26 兵庫県民会館
審査員特別賞
元浦 綺花(中3)

11月行事予定

日	曜日	行事予定
1	日	○高3模試(希望者) ○武庫女プレテスト・入試説明会(対小)
2	月	○A 中学学力推移調査追試
3	火	文化の日
4	水	
5	木	○中3研修旅行(淡路・琴平)
6	金	○中3研修旅行(淡路・琴平) ○高1校外研修(淡路) ○中2校外研修(出石)
7	土	○中3研修旅行(淡路・琴平) ○総合型選抜(高3) 休業日(11/14分)
8	日	○英検2次試験 ○芦研模試・個別相談会(対小) ○第2回入試説明会・個別相談会(対中)
9	月	B 中3 振替休日
10	火	週
11	水	○中1・2、高1・2 個別懇談会(全学年40分授業~17日)
12	木	○中3 個別懇談会
13	金	公開授業
14	土	○50分授業 MS タイム(高1(CG) [外部講師による講義①]) ジョイントコンサート(公記記念講堂) ニュース検定(希望者) 中3・高3 休業日(11/7分)
15	日	○第2回オープンスクール [iPadでのオンライン体験と茶華道体験](対小・中)
16	月	週
17	火	週
18	水	
19	木	○防災行事(7限)
20	金	○SSH 研究授業 ○中1 校外研修(神戸市北区)
21	土	○MS タイム(高1(CG) [外部講師による講義②]) ○中高大オラトリカルコンテスト
22	日	○プレテスト解説授業・アドバイス会(対小 学校教育館)
23	月	B 勤労感謝の日
24	火	週
25	水	
26	木	↑高3 期末考査(12/1)
27	金	
28	土	○高2以下 MS タイム
29	日	
30	月	A 週